

令和元年東日本台風災害での千曲市の復旧・復興状況について

千曲市では、市民生活の安定と被災施設の原状復旧に重点をおいた「千曲市復旧計画」を昨年度策定し、台風災害からの復旧を進めています。また、あわせて、今回の災害を教訓にし、中長期的な視点で今後の安心・安全なまちづくりを進めるための指針となる「千曲市復興計画」の策定を市民の皆さんと一緒に進めています。

主な被災施設の復旧状況

■復旧計画にもとづき復旧を進めている主な被災施設の進捗状況は以下のとおりです。

主な被災施設名	被災状況	復旧状況	主な被災施設名	被災状況	復旧状況
更埴子育て支援センター（杭瀬下）	床上浸水	復旧完了	平和橋緑地（中）	冠水	復旧工事着手
雨宮統合保育園（仮）（生萱）	床上浸水	R2.9.入札予定	大西緑地公園（上徳間）	冠水	復旧工事着手
杭瀬下保育園（杭瀬下）	床上浸水	復旧工事着手	千曲橋緑地（野高場）	冠水	復旧工事着手
上山田文化会館（上山田）	地下室浸水・屋根損傷	復旧完了	上山田中央緑地（上山田）	冠水	復旧工事着手
更埴図書館（杭瀬下）	閲覧室、事務室等浸水	設計中（工事未着工）	戸倉千曲川緑地公園（戸倉温泉）	冠水	復旧工事着手
更埴文化会館（杭瀬下）	地階、大ホール、インナーコリドー浸水	設計中	更埴デイサービスセンター（杭瀬下）	床上浸水	復旧工事着手

復興に向けて～千曲市復興計画の策定～

災害からの復興は、インフラだけでなく市民の皆さんの心の復興も重要です。現在、市では、被災後各地区で行ってきた住民説明会（市民懇談会）でのご意見や市民アンケート（発送者数：罹災証明書発送全世帯及び市内全域無作為抽出 2,000 世帯、回答者数：993 世帯）結果を踏まえて、公募委員を含めた「復興計画策定委員会」を立ち上げ、市民の皆さんと一緒に今後のまちづくりのあり方や必要な施策の方向性を議論し、指針となる「千曲市復興計画」の策定を進めています。

■住民説明会（市民懇談会）の開催状況

主催者	日時	場所	参加人数（対象人数）	主催者	日時	場所	参加人数（対象人数）
杭瀬下区	R1.12.5（木） 19:00～21:00	旧保健センター	約200人（全区民）	屋代区長会	R2.2.9（日） 14:00～16:15	屋代公民館	79人（全区民）
力石自治会	R2.1.29（水） 19:00～20:45	力石公民館	26人（40人）	船渡自治組合	R2.2.24（月） 10:00～12:00	旧保健センター	26人（26人）
新田区	R2.1.30（木） 19:00～21:02	新田コミュニティセンター	70人（150人）				

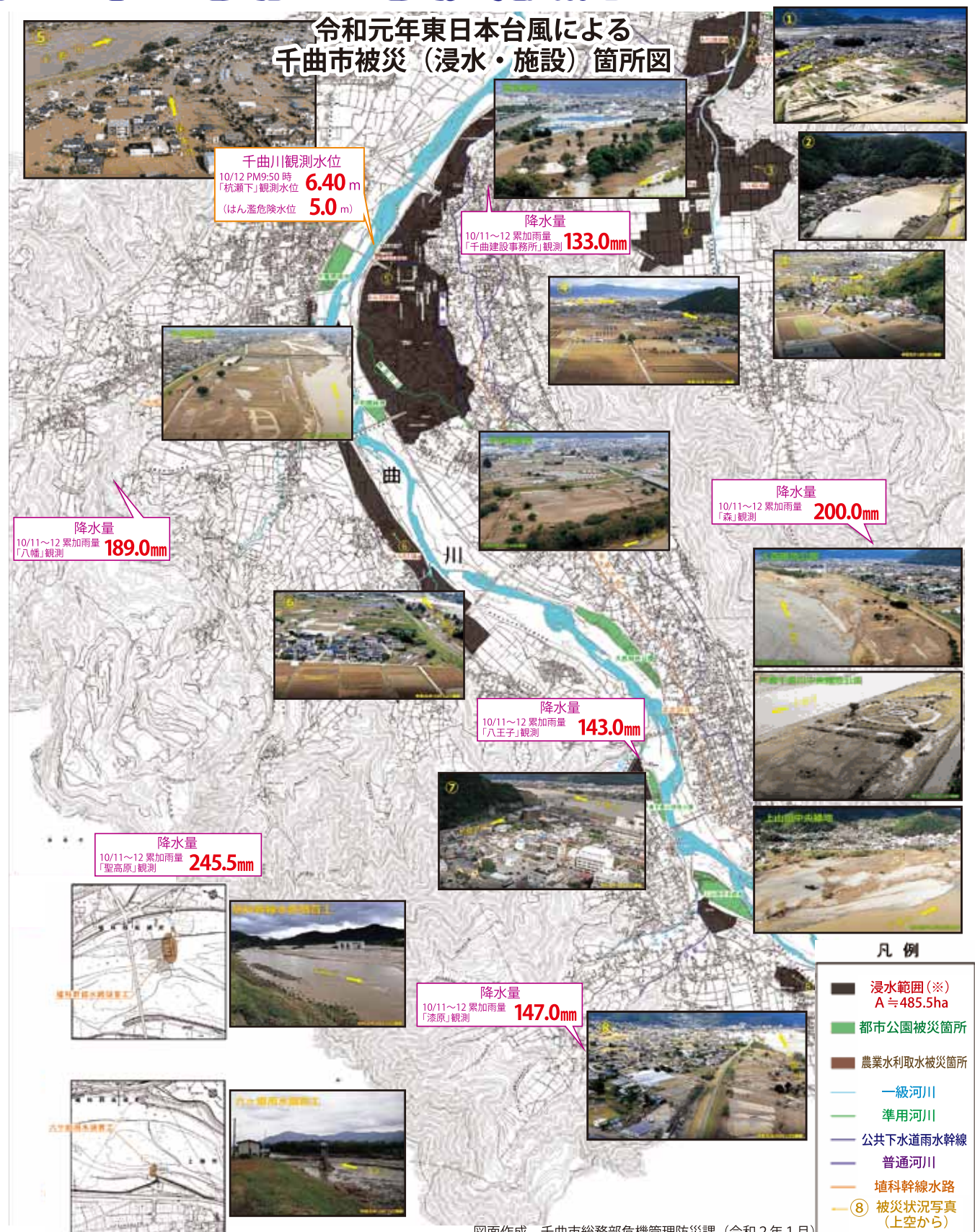
■今後のスケジュール

7～8月 委員の皆さんと議論・計画案策定
9～10月 パブリックコメント・住民説明会
10月末 計画決定・公表

※詳細は市のホームページに掲載されていますのでご覧ください。



▲千曲市ホームページの復旧・復興計画 QR コード



大型土のう設置計画

経緯

昨年、10月の令和元年東日本台風では、千曲川の水が霞堤から流れ込み、市街地へ及んだ影響により、広範囲で浸水被害が発生しました。

信濃川水系の河川管理者と、沿川自治体が作成した「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」では、新田・中地区と八幡地区の2か所に「遊水地」を計画し、令和9年度までの整備を目指しています。**整備完了までには一定の期間を要するため、それまでの間、市の水防活動の一環として「大型土のう」を設置することにしました。**

地域の皆さんには、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、浸水による被害を最小限に抑えるため、ご協力をお願いします。

内容

平和橋付近の新田・中地区と八幡地区では、千曲川の堤防に開口部があり、洪水時には本堤と霞堤の間に千曲川の水を貯水させ、千曲川に流れる水の量を減少させる機能があります。

大型土のうの設置位置は、この貯水機能を保ちつつ、住宅地の位置も考慮して下記のとおり計画しました。

図①の新田・中地区では開口部より約800m離れた位置

図②の八幡地区では約1,000m離れた位置

***大型土のうは、1袋の高さが約1mで、2段に積む計画です。**

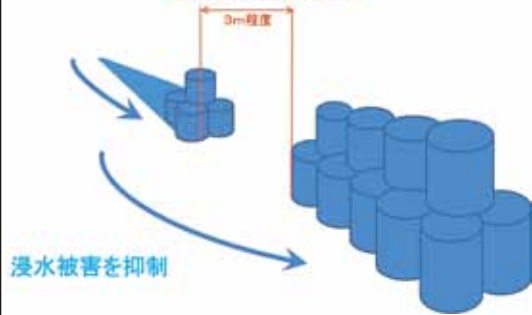
通常時は、設置場所の通行や農地への出入り、水路・河川の通水を確保します。千曲川の水が流れ込むと予想される非常時は、事前にその部分に大型土のうを設置し、閉鎖します。

発行元：千曲市復興本部(総合政策課)

☎026-273-1111(内線4131)

大型土のう設置イメージ

普段は田畑等の出入りを確保
洪水予想時に土のうを設置し閉鎖



大型土のう計画位置



① 中・新田地区

② 八幡地区